

令和 6 年度 当初予算案等の概要

市民局	P 1 ~ P 10
各区のまちづくり	...	P 11 ~ P 18

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



市民局

01 令和6年度市民局予算案

(1) 総括

年 度	予 算 額					
	歳 入	歳 出	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
令和6年度 (A)	93億8,770万円	241億1,673万円	25億5,907万円	45億3,100万円	22億9,763万円	147億2,903万円
令和5年度 (B)	148億4,948万円	290億8,659万円	9億9,488万円	38億400万円	100億5,060万円	142億3,711万円
差引増減 (A-B)	△54億6,178万円	△49億6,986万円	15億6,419万円	7億2,700万円	△77億5,297万円	4億9,192万円

※万円未満を四捨五入しており、計算が一致しない場合がある

(2) 重要施策の体系と予算

重 要 施 策	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度
1. 災害に強いまちづくり	7億973万円	7億7,043万円
2. 安全で安心して暮らせるまちづくり	3億5,926万円	3億560万円
3. コミュニティづくりの支援	16億8,857万円	14億9,546万円
4. 区行政の推進	11億3,723万円	11億2,260万円
5. スポーツの振興	51億8,380万円	132億8,955万円
6. 男女共同参画の推進	2億5,837万円	2億1,217万円
7. 人権行政の推進	5億4,273万円	5億4,333万円

02 重要施策の概要

★：新規、☆：拡充

1. 災害に強いまちづくり



ア 防災・危機管理体制の強化

- 近年、激甚化、頻発化している自然災害に備え、防災関係機関との連携による全庁的な震災対処訓練を実施するなど、災害・危機対応能力の向上を図るとともに、災害時の電力確保として、区庁舎における非常用電源の整備等の停電対策を推進する。
- また、新たな洪水浸水想定区域に基づくハザードマップの更新やデジタル技術を活用した災害リスク情報の提供など、避難支援対策の充実・強化を図る。
- さらに、令和6年能登半島地震を踏まえ、避難所の衛生環境確保等のための公的備蓄の拡充、災害対応支援システムの改修や支援物資集積拠点・輸送網等の機能評価などの対策強化に取り組む。

☆公的備蓄の拡充（対策強化事業）

6,636万円

避難所における衛生対策、寒さ対策等

避難所生活に必要な物資の備蓄拡充

①衛生対策

簡易トイレを52台保有 → 304台に拡大
入浴代替用品として、水のいらぬシャンプー・ボディソープやボディタオルを新たに追加

②寒さ対策

使い捨てカイロを新たに追加

③エコミークラス症候群対策

足の血流を促進する弾性ストッキングを新たに追加



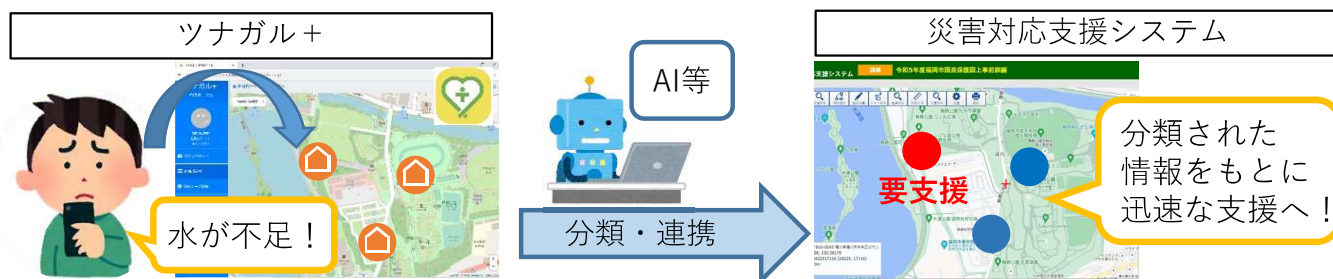
☆災害対応支援システムの改修（対策強化事業）

2,973万円

迅速な被災者支援を行うためのシステム改修

防災アプリ「ツナガル+」と災害対応支援システムのデータ連携

迅速な被災者支援を行うため、避難所以外への避難の状況など、ツナガル+に寄せられる様々な情報を、自動的に分類し、災害対応支援システムへ連携

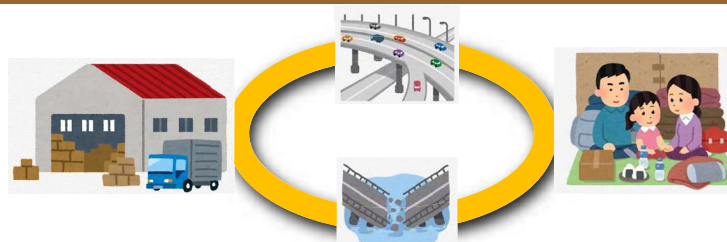


★支援物資集積拠点・輸送網等の機能評価等（対策強化事業）

300万円

より円滑に支援物資を避難所へ搬送

市内のどのエリアが被災しても、発災直後のプッシュ型支援を迅速に受け入れ、各避難所へより円滑に物資を搬送できるよう、物資輸送体制の機能評価を実施の上、体制強化に向けた取組みを推進



☆災害対策本部機能の強化

906万円

災害対応能力の向上・防災関係機関との連携強化

震災対応訓練の実施

大規模災害発生時に、市民の生命・財産を守るため、市の災害対応能力の向上を目的とし、防災関係機関と連携した、全庁的な震災対応訓練を実施

☆避難支援対策の充実・強化

3,303万円

洪水ハザードマップの更新とデジタル技術の活用

☆洪水ハザードマップの更新

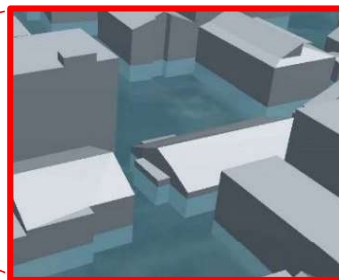
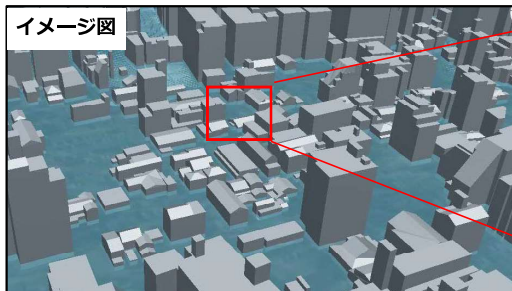
2,707万円

県が公表した新たな洪水浸水想定区域図等をハザードマップへ反映

★3Dハザードマップの作成

411万円

3D都市モデルと洪水浸水想定区域等データを重ね合わせ、災害リスク情報をわかりやすく可視化



建物ごとの浸水の深さが一目で分かる。

★障がい者等への災害リスク情報の提供

60万円

スマートフォンアプリを活用し、GIS機能で現在地の災害リスク情報を音声で読み上げ

イ 地域防災力の向上

- 避難行動要支援者の個別避難計画の作成や、マイ・タイムラインの活用促進、防災アプリの利用促進など、適切な避難行動につながる取組みを進める。
- また、地域の自主防災活動を促進するため、避難所運営訓練や自治会・町内会における避難支援体制づくりなど、地域が主体となった取組みを支援するとともに、防災講習の開催や学校における防災教育などにより、防災知識の普及や防災意識の高揚を図る。

★防災アプリ利用促進事業

632万円

避難者を支援する防災アプリ「ツナガル+」の利用促進

利用促進キャンペーンの実施

新たな機能を追加し、ツナガル+を積極的に利用してもらうためのキャンペーンを実施

防災訓練等での操作体験

市民参加の防災訓練等にツナガル+の操作体験を追加し、実災害時に役立つツールとしての普及啓発を実施



※指定外の避難所からも

2. 安全で安心して暮らせるまちづくり



ア 防犯対策の強化と暴力追放の推進

- 犯罪のない安全で住みよいまちづくりの実現に向け、市民等が防犯意識を向上させ、地域防犯活動に取り組むことができるよう、防犯環境づくりの支援や広報啓発を行うなど、防犯施策を推進する。
- また、暴力団等による民事介入・行政対象暴力の排除に向け、関係機関等と連携して暴力追放を推進する。

地域防犯力強化事業

2,659万円

地域防犯パトロールカー活動等の支援や生活安全専門員による防犯に関する出前講座、防犯意識向上のための広報啓発を実施

繁華街対策事業

2,582万円

客引き対策指導員による巡回指導及び来街者に対するスピーカーによる注意喚起

☆街頭防犯カメラ設置補助事業

6,477万円

防犯カメラ設置助成台数の拡大

地域の防犯に資する防犯カメラ設置助成台数を拡大
未設置校区等への設置に対し助成までの期間を短縮



イ 交通安全対策、モラル・マナーの向上

- 交通事故のない安全で安心なまち福岡を目指し、飲酒運転の撲滅をはじめとした、交通安全の取組みを推進するとともに交通安全意識の高揚を図る。
- また、人に優しく安全で快適なまち福岡を目指し、市民や事業者と連携して、モラル・マナー向上に取り組む。

☆モラル・マナー向上市民啓発事業

7,010万円

路上喫煙対策の強化

人流の活発化を踏まえ、来街者や市民向けに路上禁煙地区を
より分かりやすく周知する看板や路面標示の増設、
路上喫煙防止にかかるより効果的な広報啓発を実施



ウ 消費者対策

- 「第2次福岡市消費者教育推進計画」に基づき、若年者や高齢者、障がい者等の消費者トラブルの未然防止を図るため、悪質商法の手口や対処法を情報提供するなど、消費者に対する啓発事業の強化に努めるとともに、教育委員会と連携した消費者教育講座を開催するなど、消費者教育を推進する。
- また、消費生活相談や「福岡市消費生活条例」に基づく事業者指導等を行い、消費者被害の防止・救済に努める。

消費者教育の推進

95万円

令和7年度を初年度とする「第3次福岡市消費者教育推進計画」の策定

3. コミュニティづくりの支援

ア 住民主体のコミュニティづくりの支援

- 自治協議会や自治会・町内会が行う地域活動等を支援することにより、「共創」による持続可能な地域コミュニティづくりを推進するとともに、校区主体の活動をさらに進めるため自治協議会共創補助金を拡充する。
- また、コミュニティ活動の拠点である公民館の整備を進めるとともに、多様な主体の連携促進や地域活動の担い手の育成、DXの推進等による公民館の利便性向上に取り組む。

町内会活動支援事業

4,099万円

町内会が主体的に行う地域の活性化や課題解決のための活動に係る経費の助成

地域の担い手パワーアップ事業

1,022万円

地域の担い手育成やWi-Fiを活用したデジタル化支援など、公民館における地域コミュニティ支援を実施

☆ 共創自治協議会事業

5億5,905万円

校区主体の活動のさらなる推進のため共創補助金を拡充

各校区10万円増

自治協議会による共創のまちづくり活動への助成の拡充により、住民ニーズや地域課題に即した校区の取組みを支援するとともに、「担い手づくり」を推進

防災訓練



★ 公民館の業務効率化等支援

895万円

公民館の機能強化（DXの推進等による公民館の利便性向上）

公民館業務の効率化検討

利用者の利便性向上と公民館職員の負担軽減のため、デジタル技術の活用等による業務の効率化を検討

タブレット端末のモデル導入

利用者がデジタル技術の利便性を身近に体感できるよう、一部の公民館でタブレット端末の導入を試行



公民館整備事業

5億5,303万円

（仮称）照葉はばたき公民館の新築

公民館の新築工事を実施（木造）

照葉はばたき小学校区新設に伴い、市産材を活用した150坪規模の木造公民館新築工事を実施

完成イメージ



イ 市民公益活動の推進

- N P O・ボランティア交流センターを拠点として、情報や交流の場の提供、相談事業、組織基盤強化の講座等を実施するとともに、N P O等との共働の推進や、N P O活動支援基金を活用した公益活動への助成等により、市民公益活動を支援する。
- また、N P O法人の認証・認定業務における、情報提供や相談対応等のきめ細かな支援により、N P O活動の活性化を促進する。

共働推進事業

770万円

市民公益活動における多様な主体による共働を推進するため、活動の担い手の発掘・育成等を実施

ウ 市民センターの大規模改修等

- 「中央市民センター」について、令和9年度のリニューアルオープンを目指し、大規模改修の取組みを進める。
- 南区における地域交流センターの整備に向け、基本構想の検討を進める。

★中央市民センター大規模改修事業

1億677万円

市民センターの大規模改修を推進

中央市民センター大規模改修工事の設計に着手

施設の長寿命化、防災機能の強化やバリアフリー化などの改修に係る基本・実施設計を実施



現在の外観

(総務企画局からの移管事業)

★地域交流センター検討(南区)

561万円

南区における地域交流センター整備に向け、基本構想を検討

4. 区行政の推進

ア 区の特徴を活かしたまちづくりの推進

- ▶ 市民に最も身近な総合行政機関である区役所において、市民や地域の多様なニーズに対応した事業を地域と共働で企画・実施し、区の特徴を活かしたまちづくりを進める。

イ 市民サービスの向上

- ▶ 利活用が進むマイナンバーカードについて、引き続き円滑な交付を推進するとともに、各種証明書のコンビニ交付サービスの利用促進や、ICTを活用した手続きの簡素化・待ち時間の短縮など、市民の利便性向上と区役所における窓口サービスの充実を図る。

引越し手続きのオンラインサービス等事業

8,600万円

引越し手続きに係る来庁日のオンライン予約

マイナンバーカード臨時交付センター事業

2億5,398万円

マイナンバーカード臨時交付センターの運営

コンビニエンスストア等における証明書自動交付

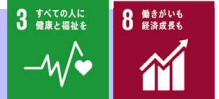
1億3,477万円

コンビニや各区役所のマルチコピー機で証明書を交付

住民票や印鑑証明はいまや半分以上がコンビニで取得されています！

マイナンバーカードを活用し、コンビニエンスストアや各区役所にあるマルチコピー機から、住民票の写しなどの証明書が取得できるサービスを提供





5. スポーツの振興

- 全ての人が生涯にわたってスポーツに親しむことができる都市を目指し、地域やプロスポーツ等と連携を図りながら、「する」「みる」「ささえる」の観点で、スポーツの普及振興に取り組む。
- 市民総合スポーツ大会の開催やスポーツ施設の管理運営、身近な場所でスポーツを体験できる機会の提供など、子どもから高齢者まで市民がスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境づくりを進めるとともに、1万人を超える市民ランナーが参加する「福岡マラソン」を開催する。

☆今宿野外活動センターリニューアル

3,995万円

豊かな自然を活かした魅力ある施設への再生

令和8年度のリニューアルに向けた事業者公募、設計等を実施

老朽化した施設を改修し、誰もが気軽に自然体験ができる魅力的なセンターへリニューアル！



【スケジュール】

6年度

7年度

8年度

事業者公募

施設改修

リニューアルオープン

子どものスポーツきっかけづくり事業

2,955万円

子どもたちのスポーツ体験機会を充実

スポーツ体験ランド2024

競技スポーツをはじめ、ニュースポーツやパラスポーツを体験できるイベントを実施

夏休みプール開放事業・アイススケート体験事業

夏休み期間に、市民プールや民間プールを活用したプール開放事業やオーヴィジョンアイスアリーナ福岡を活用したアイススケート体験事業を実施



★体育館・プールの改修

17億706万円

東体育館・早良市民プール等の改修

施設の老朽化や利便性向上に対応するため、東体育館・早良市民プール改修工事等を実施

<改修内容>

- ・内装やサインの改修
- ・バリアフリー化（トイレ等）
- ・照明のLED化
- ・空調設備の更新 等



福岡マラソン2024開催

第11回大会を令和6年11月10日（日）に開催

1億3,734万円



6. 男女共同参画の推進

- ▶ 「福岡市男女共同参画基本計画（第4次）」及び「福岡市働く女性の活躍推進計画（第2次）」、「福岡市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画（第3次）」に基づき、地域や若年層への男女共同参画意識の啓発や、困難な問題を抱える女性への支援、企業における女性活躍の普及・促進など、諸施策の推進に全庁をあげて取り組む。
- ▶ 男女共同参画推進センターにおいては、拠点施設として、各種事業を推進するとともに、関係団体等と連携しながら市民の男女共同参画推進活動を支援する。

男女共同参画意識の浸透

983万円

地域や若年層への男女共同参画意識の啓発

WaffleCampホームタウンin福岡市の開催

15万円

I T分野のジェンダーギャップの解消を目指し活動するNPO法人Waffleと共催し、「自分でもできる」気持ちを醸成する女子学生向けのプログラムを実施

内容：1日完結型でのプログラミング体験（ウェブサイトの作成）や、I T業界で働く女性のキャリアに関する講演を実施



中学生向け出前セミナー

34万円

中学生に対し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを開催



令和6年度 20校実施予定
(3年間に市内69校で実施)

前半：副読本や動画視聴による啓発
後半：外部講師の講演（起業家、女性消防士など）

男女共同参画推進センター事業

259万円

男女共同参画推進センター・アミカスでの講座・講演会の開催、啓発広報誌の発行、地域が行う自主的な研修への講師派遣支援などを実施



☆女性活躍推進事業

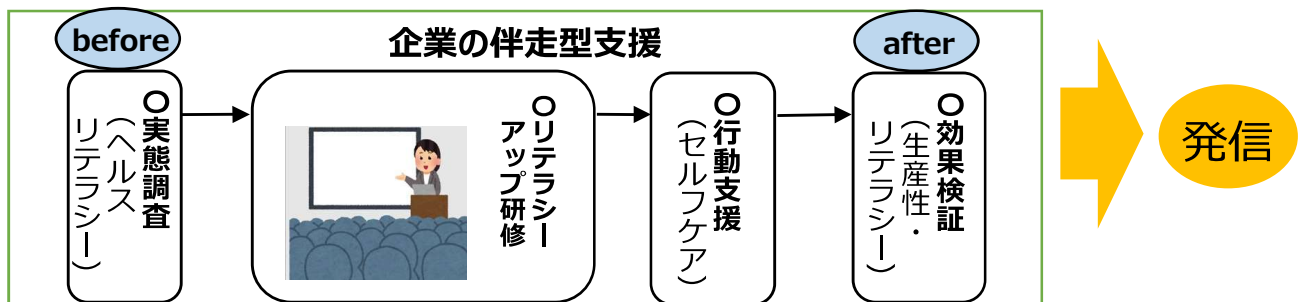
2,604万円

企業における女性活躍の取組みの支援

★女性のキャリア形成支援（健康課題等と仕事の両立）

586万円

女性特有の健康課題等と仕事の両立や、ヘルスリテラシー向上に向けた企業への伴走型支援を実施



★女性活躍の仕組みづくり（管理職比率の向上）

378万円

女性管理職比率の向上を図るため、企業における女性のキャリア形成やダイバーシティの取組みを促進する仕組みを検討

7. 人権行政の推進

- 全ての人の人権が尊重される社会の実現に向け、全庁をあげて人権尊重の視点に立った行政の推進に努める。
- また、「福岡市人権教育・啓発基本計画」に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けた取組みを推進するとともに、性的マイノリティ支援や若年層の人権啓発事業への参加促進を図る。
- 地域においては、人権のまちづくり館を拠点とした地域交流や人権啓発事業等に取り組む。

人権啓発フェスティバル（ハートフルフェスタ）の開催

900万円

市民が身近に人権に触れる機会の提供

講演会・人権に関する団体のパネル展等を開催

一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日常的な人権感覚が身につけられるよう、講演や展示、体験イベント、市民団体の活動紹介などを実施



講演会



SDGs教室



車いすバスケット体験

福岡市人権尊重週間行事の開催

1,096万円

毎年12月4日～10日の福岡市人権尊重週間を中心に、各区講演会や人権尊重作品の展示などを実施

ココロキャンパスの開催

145万円

市内の大学と連携し、次代を担う若年層の人権啓発事業への参加促進を図る講演会を実施

企業研修の推進

249万円

市内企業の役職者等を対象とした動画配信による人権研修会などを実施

性的マイノリティ支援事業

637万円

性の多様性に関する理解の増進

当事者等の支援

- ・パートナーシップ宣誓制度
- ・当事者等の交流事業 等

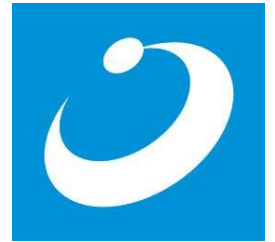
市民・企業への啓発

- ・映画会・講演会
- ・ふくおかLGBTQフレンドリー企業登録制度 等





03 各区のまちづくり



「ぬくもりのある区役所」の実現

区庁舎のぬくもり強化

★◆ 外国人専用総合相談窓口の設置 10万円

外国人の専用相談窓口を設置し、健康、子育てなど福祉的な分野を含め、多岐にわたる問い合わせや相談に総合的に対応



総合案内窓口の近くに専用窓口を設置



★◆ ご遺族サポート窓口のワンストップ化 10万円

ご遺族サポート窓口を新たにワンストップ化し、関係課職員が窓口に出向き対応することにより、ご遺族の負担を軽減



現在のご遺族サポート窓口



D X の推進

★◆ スマートスピーカーによる高齢者見守り支援 139万円

地域(民生委員等)による単身高齢者等の見守りの負担軽減や体制の充実へ向け、スマートスピーカーを活用した見守りの実証実験を実施



★◆ スマートフォンを活用した業務効率化 123万円

翻訳機能等を有する専用スマートフォンの導入により、保護課のケースワーク業務の効率化を図り、保護受給世帯への支援をよりきめ細やかに実施



健やかに育ち暮らせるまちづくり

東区認知症に優しいまちづくり事業 82万円

SNS等による情報発信、各校区での認知症声かけ訓練、大学での各種講座の実施等により、若い世代を含む市民の認知症高齢者への理解を促進



大学での認知症サポーター養成講座の様様



認知症高齢者への声かけ訓練の様様

地域の魅力を生かしたまちづくり

東区芸術文化祭などによる魅力発信 563万円

区民が芸術文化に気軽に親しめるよう、大学など多様な主体と連携し、アートイベントなどの多彩な事業を実施



R5年度実施のアートイベントの様様

★ 窓口の待ち時間を活用した歴史探訪の提案 52万円

区役所周辺散策マップの作成により、来庁者の窓口待ち時間を活用した箱崎地区等の歴史探訪を提案



安全安心のまちづくり

個別避難計画作成の推進 41万円

高齢者など避難に支援を必要とする方の避難計画作成の支援とともに、同計画に基づく避難訓練を実施



R5年度の避難計画ワークショップの様様

共創のまちづくり

自治会・町内会支援事業 29万円

自治会長等へのヒアリングに基づくデータベースの作成・活用により、課題の抽出、対策の検討を行い、自治会活動を支援



自治会での情報収集の様様

博多区のまちづくり

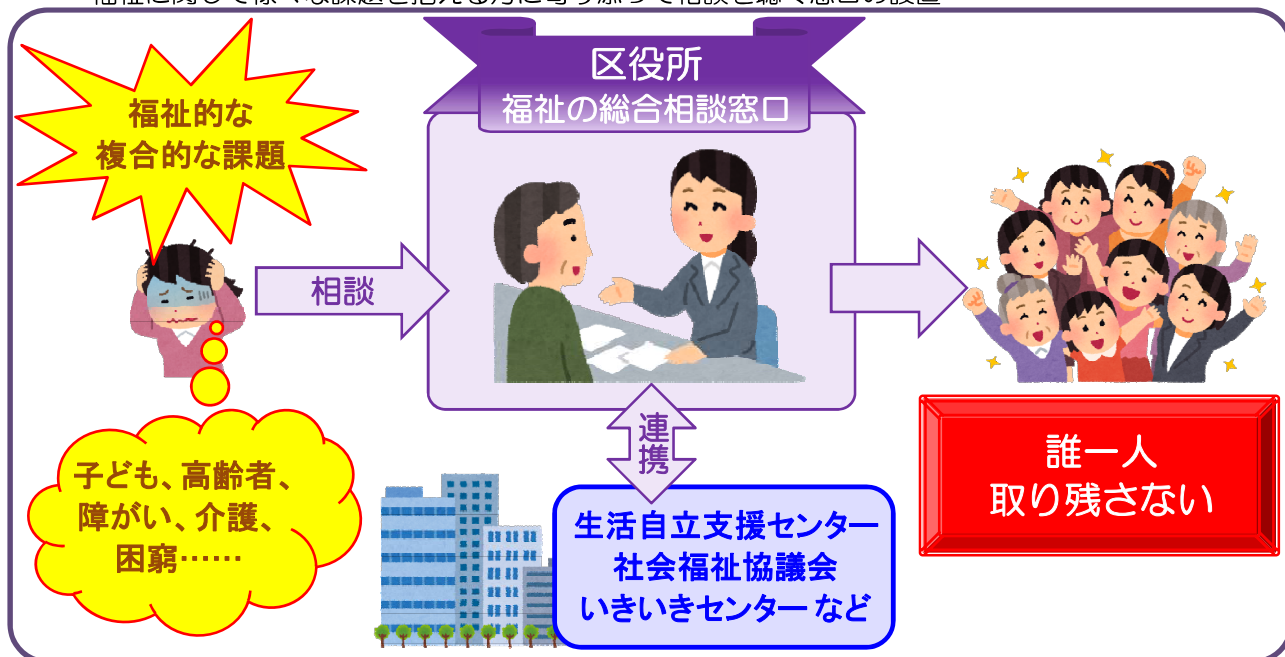


令和6年度予算額

◆ ★ ぬくもりのある区役所づくり(新規事業)

411 万円

福祉に関して様々な課題を抱える方に寄り添って相談を聴く窓口の設置



お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち

博多元気子育て支援事業

33 万円

こどもの発達を心配している保護者が悩みを共有するサロンなどの開催

博多区企画推進事業(専門学校との共創 など)

41 万円

博多区内に多く立地する専門学校と地域を結び、学校の専門性と学生の活動力を地域活動に活かす取り組みなど、区の特徴を活かした「共創のまちづくり」の推進

安全で安心して暮らせるまち

地域防災・防犯推進事業

99 万円

地域の防災・防犯力向上に向けた、自主防災訓練の支援や防犯キャンペーンの開催

放置自転車対策事業

453 万円

区内の放置禁止区域等において、即日撤去の実施や、路面標示の整備、チラシ配布等の啓発活動を実施

歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

地域密着型の集客・まちづくり事業

413 万円

「博多秋博」等、企業や地域住民と連携した博多の魅力の発信、集客力向上の企画・実施

博多ライトアップウォークの推進

884 万円

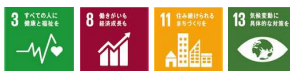
博多部の歴史的景観の魅力を発信し、集客力・回遊性の向上と地域の活性化を図ることを目的とした事業の実施

おもてなしの人材活用事業

87 万円

「博多ガイドの会」とともに、歴史ある博多のまちの案内、店舗と連携するまち歩きなどの事業を推進


中央区のまちづくり



令和6年度予算額

安全安心のまちづくり

- ◆ **災害対応力の向上** 420 万円
要支援者の避難支援に係る実技研修や親子で学ぶ防災ワークショップの開催等、「自助」「共助」の取り組みを推進




★各校区・地区の自主防災担当者向け
要支援者の避難支援に係る実技研修の実施
(車いすの介助方法など)

「自助」「共助」の
取り組み推進

★親子で学ぶ
防災ワークショップの開催

自主防災訓練の支援等
(避難所設営訓練など)



- 人に優しい道づくり 【区枠外予算】 1,000 万円
地域(平尾・薬院地区)との共働によるゾーン30プラスの整備

- マナーアップへの取り組み 297 万円
自転車利用マナー向上のため、小中学生や在留外国人を対象とした交通安全教室の実施等

健やかに育ち暮らせるまちづくり

- ◆ ☆ **中央区の認知症になっても住みやすいまちづくり事業** 274 万円
認知症高齢者と接点のある事業者との共働による見守りのネットワークづくりや連携ツールの作成等

マンション管理者をはじめ銀行、コンビニ等と連携し、
早期の段階で支援機関へつなぐ仕組みづくりを行う。
そのための連携ツール(認知症の特性に配慮した対応マニュアル)等を作成する。



支援機関

認知症になっても、
住み慣れた地域で
生活できる!!

- 地域コミュニティ活動活性化支援事業 258 万円
自治会・町内会の活動支援や公民館による地域コミュニティ支援機能の充実強化を実施

区の魅力が活きるまちづくり

- 中央区まちの魅力発見事業 197 万円
地域住民や来街者が地域に愛着や親しみを持てるようなイベント等を実施

- 良好で魅力的な都市環境の確保 【区枠外予算】 3,150 万円
西中洲地区の石畳による道路整備

南区のまちづくり



令和6年度予算額

◆ めくもりのある福祉窓口の実現へ！ 243万円

簡単な手続きはスピーディに！ 相談はじっくり親切・丁寧に！

本館

手続き時間の短縮

◆ 転入・死亡時など、簡単な手続きのみ

NEW 福祉の専用窓口を新設

専用窓口で手続き時間をショートカット！

建物を移動せず！すぐ終わった！

保健福祉センター

案内・相談機能の強化

福祉・介護保険課 **NEW**

案内職員を配置

迷わず行けた！

じっくり聞いてもらえて良かった！

プライバシーに配慮した相談ブースを新設 **NEW**

めくもりある空間へ整備！

移動不要！

◆ 子育て啓発コンテンツ配信であんしん子育て！ 890万円

タイムリーなプッシュ通知で

【プッシュ通知】

- ・LINE通知
- ・母子保健アプリ
- ・4か月児健診など

子どもの成長にあわせ

確かな情報を動画で配信

医師が監修
政令市初

なるほど!! 成長が楽しみ♪

私にもできそう!!

あんしん子育て

コンテンツは **全市で活用**

生後5か月頃に寝返り。ベッド柵で転落防止を。

◆ 健康づくり×道路整備 区枠外予算 1,400万円

南区版「めくもり」のある道づくり

身近な道路を活用して地域の健康づくりを後押し！

快適なウォーキング環境の整備(イメージ)

案内サイン、ベンチ、路面標示

集える休憩空間の整備(イメージ)

サークルベンチ等

気楽に 気ままに 気持ちよく

☆ 地域課題解決ワークショップ 120万円

地域の担い手不足など地域課題解決に向けて、校区単位のワークショップを開催（令和6年度は8校区で実施、令和5年度から令和7年度で25校区実施予定）

学生アート人材輩出支援 Minamiku Art Next 220万円

大学と連携し、若者へのアート作品発表機会の提供や、アーティストカフェを活用したアーティスト等との交流会開催など地域密着型の支援を行い、アート人材の育成を図る

大学・自然と共生し、地域で支えあうまちづくりを目指します。

ぬくもりのある区役所づくり



子ども見守りサービス



ご遺族サポート窓口

共創のまちづくり



新任自治会長研修



油山の魅力発信イベント



安全で安心して暮らせるまちづくり



自治会・町内会単位の
避難所運営訓練



子育て講座

健康長寿社会に向けた健康づくり



食育相談



民間運動施設での講座

ぬくもりのある区役所づくり

◆ ★ 来庁者子ども見守りサービス事業

繁忙期（3月中旬～4月中旬）において、区役所利用者の子どもを一時的に見守るサービスを試行的に実施

75 万円

◆ ★ 外国人向け「ごみ分別看板」の作成・配布

城南区に住む外国人の暮らしやすい環境を目指し、共同住宅ごとの住民に応じた外国語看板を提供

11 万円

◆ ミツバチ活用マッチング事業

ミツバチの巣や分蜂を見つけ不安になった市民とミツバチの保護・活用ができる養蜂団体をマッチング

1 万円

共創のまちづくり

◆ ☆ 油山・樋井川の魅力発信

油山・樋井川の情報発信や自然を体感できるイベント等の開催

86 万円

◆ 地域を支える人材発掘・育成支援事業

公民館事業などをきっかけに、将来、地域活動に携わる人材を発掘し、活動の要となる人材を育成

79 万円

安全で安心して暮らせるまちづくり

◆ 共創による防災力の強化

自治会・町内会単位での訓練等の機会拡大による地域防災力の強化、地域と連携した避難所運営の推進等

90 万円

◆ あなたの子育てにっこりサポート事業

父親の育児参画や子育ての悩み等への情報提供を目的とした啓発リーフレット配布、講座の開催

26 万円

健康長寿社会に向けた健康づくり

◆ 城南区食育推進事業(元気でいただきます応援事業)

未就学児や児童及びその保護者を対象とした食育講習会や、食育相談の実施等

42 万円

◆ ☆ 城南区健康長寿へのチャレンジ事業

民間運動施設等と連携し、18歳以上を対象とした運動講座を年間を通じて開催

23 万円

めくもいのある区役所づくり

◆ ★ ご遺族サポート窓口のワンストップ化

18 万円

ご遺族の多岐に渡る事務手続きをワンストップで行う「ご遺族サポート窓口」の強化



共創によるまちづくり

☆ 地域活動の活性化と新たな担い手づくり

54 万円

- 自治会長・町内会長を対象とした実務研修会や活動事例発表会の開催、自治会・町内会の魅力をWEBで発信
- 子ども会活動の活性化のため、研修動画等を活用したきめ細やかな支援の実施及び校区事例等の広報の充実

早良区の豊かな自然や食の魅力発信

866 万円

- 「さわらの秋」などのイベントや魅力発信を通じた区全体の集客プロモーションの実施
- 脊振山系の自然や特産品などの魅力を活かした早良区南部地域の活性化や回遊性向上に向けた集客イベント（マルシェ等）の実施

安全安心で快適なまちづくり

地域防災力、防災・危機管理体制の強化事業

211 万円

避難所の資機材の設置や、防災や防犯・交通安全について学ぶ「安全安心フェスタ」の開催

安全安心まちづくり事業

96 万円

校区の意見を収集・反映させた安全安心マップの更新・印刷・配布、地域防犯パトロール活動への支援等

支え合い健やかに暮らせるまちづくり

☆ さわらっ子育て応援事業(発達が気になる子と保護者のための子育て支援事業)

77 万円

発達が気になる子どもと保護者のための子育てサロン「もちもち」の運営

早良区版地域包括ケアを推進する事業

191 万円

地域包括ケアの取組みを推進するため、市民啓発として講座やオーラルフレイル予防事業を実施



ぬくもりのある区役所

- ★ **ご遺族サポート窓口のワンストップ化** 146 万円
ご遺族の行政手続き負担軽減のため、「ご遺族サポート窓口」で完結できるよう窓口を整備

安全安心のまちづくり

- ◆ **地域自主防災力及び区防災体制の強化** 169 万円
単位自治会ごとの個別避難計画の作成支援及び区災害対策本部の充実・強化等
- ◆ **有害鳥獣対策事業** 105 万円
生活圏を脅かすサル、イノシシの駆除及びイノシシの繁殖や出没しにくい環境づくり

健寿社会の実現

- "オール西区"で取り組む**地域包括ケアシステム** 45 万円
地域包括ケアシステムの推進に向けた講演会等の実施
- 西区子育て応援事業** 50 万円
発達が気になる子とその保護者のための子育てサロン及び父親向け子育て講座の開設

共創の地域づくり

- ◆ **離島振興** 1,292 万円
玄界島と小呂島における地域おこし協力隊員の離島振興活動にかかる経費
- ◆ ★ **元寇750周年事業支援** 99 万円
西区自治協議会が主体的に取り組む周年事業への支援
- 地域の自治力強化に向けた校区支援事業** 65 万円
自治会向けの研修や加入促進チラシの作成等、地域活動への支援

